

事務事業名 加茂西地区農業競争力強化基盤整備事業償還補助金		所属部 産業振興部	所属課 農林土木課
総合計画体系	政策名 (V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G 土地改良G	課長名 渡部 克彦
	施策名 (33)農業の振興	担当者名 金山 雄児	電話番号 0854-40-1053 (内線)
	目的:対象 市内の農業従事者 意図 A)消費者に信頼される安心・安全な農畜産物を生産する。B)農家所得の向上。	予算科目 会計 款 大事業 大事業名 土地改良事業 0 1 3 0 0 2 項 目 中事業 中事業名 農業競争力強化基盤整備事業 0 5 5 5 7 3 業名 業償還補助金	
	基本事業名 (096)生産基盤の整備・保全 目的:対象 農業従事者 意図 農業の生産性を維持・向上できるようにする。		

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述) 加茂町加茂西地区ほ場整備事業の償還補助金の交付  促進費(集積補助金)の交付 43,420千円 補助率 国55% 県45% 市負担なし  交付先 雲南市土地改良区 事業に伴う地元負担金償還残金の繰上償還に使用  県⇒雲南市⇒雲南市土地改良区へ交付

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動 25年度実績(25年度に行った主な活動) 促進費(集積補助金)の雲南市土地改良区への交付事務 26年度計画(26年度に計画する主な活動) 補助金交付該年度の単年度業務なし
	② 活動指標
	単位 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(計画)
ア	農地の法人への集積率 % 84
イ	
ウ	
エ	

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか) 圃場整備の受益者及び受益面積	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
		ア 受益面積	ha			30	
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか) 農業生産法人への農地集積率の向上を図る。	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
		ア 農地の法人への集積率	%			84	
		イ					
		ウ					

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)
促進費(集積補助金) 43,420千円 国55%、県45%、市負担はなし	財源内訳	千円			23,881	
	国庫支出金	千円			19,539	
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円				
	事業費計(A)	千円			43,420	
	人件費	人			1	
	正規職員従事人数	時間			5	
	延べ業務時間	千円			19	
	人件費計(B)	千円				
	トータルコスト(A)+(B)	千円			43,439	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?) ・農政改革により、大規模農地基盤整備事業の推進及び農業生産法人への農地集積を図るため、促進費制度が拡充されつつある。	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) なし	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?) ・大規模農地基盤整備事業に取組む地区からは、促進費の交付について事業当初から期待されているところである。
---	--	--

事務事業名	加茂西地区農業競争力強化基盤整備事業償還補助金	所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
-------	-------------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	大規模ほ場整備事業における、国の促進費(集積補助金)制度に基づく、補助金の交付事務である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	補助金の交付事務であり、廃止はできない。大規模ほ場整備事業への取り組みが無くなる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		類似事業はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		県からの補助金交付のみの事業である。
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		県への補助金の請求、改良区への補助金交付事務のみであり、削減余地はない。
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		ほ場整備事業に伴い生じた、国の制度による補助金の交付である。
D 公平性	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		県営の大規模ほ場整備事業に伴う、促進費(集積補助金)事務であり、土地改良事業の推進、農地の集積、地元負担の軽減に役立っている。該当の土地改良事業に対して、制度に基づき交付される補助金である。
A 目的 妥当性	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
B 有効性	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持		×																
	低下	×	×																
・促進費(集積補助金)交付年度の単年度事務であり、事務が完了した。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		